

ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について  
(第十二報)

秋涼の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校教育活動の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、2学期よりパンデミックレベルイエローにて通常登校による学校再開が実現しました。通常登校再開にあたり、学校と保護者が情報連携・行動連携すべきことについて、「新型コロナウイルス感染症への対応について(第一報～第十報)」に示した内容をとりまとめ、またはアップデートした内容を第十一報に示しております。今回は9月23日の国家安全保障会議を受けた続報となります。6つの黄金律の遵守をベースとしながら、自宅待機期間の短縮など変更点もありました。

本校ではインターネットを活用した授業実施や課題の提供を早期に実現することができました(4月22日)。前年度の授業も完全実施しており(日本は3月分の授業未実施のため6月の学校再開後、前学年未履修分の学習から開始)さらに主要教科に特化した教育課程の完全実施を目指した学校運営を行うことにより(第五報2(1))、主要教科において授業の遅れによる進路選択上の不利益はありません。

この状況が続くことを念願していますが、直近の公衆衛生省発表による感染状況は楽観を許さない状況だと言わざるを得ません。また、近隣国の新聞報道も深刻な現状を示しています。(本文の最後に掲載)本校においてはフランス語共同体の示す新型コロナウイルス感染症学校対応ルールのもと、文部科学省の通知、ベルギー国内における現地校やインター校の状況、欧州各国の状況等を総合的に勘案しながら方針を定めていますが、今後も常に関係機関と連携し、正しい情報の収集に努めながら状況の変化に即時対応することを心がけて参ります。これからも、ブラッセル日本人学校の関係者として矜持をもって落ち着いて行動していきましょう。

## 記

## 1 新型コロナウイルス感染症への対策について【再確認】

## (1) 児童生徒の感染可能性を最小限にし、健康で安全な学校生活を維持継続するために

ア 小学部と中学部の動線分けをする。

イ マスク着用を義務づけ、手洗い(登下校時や休み時間等の学級外活動のたび)を徹底する。

ウ 常にソーシャルディスタンスを意識する。

エ 使用教室や児童生徒動線について次亜塩素酸ナトリウム又はアルコールによる消毒をする。

オ 教職員は授業の際はシールド装着のうえ、マスク着用を基本とする。

カ 子供たちが触れる場所を少なくするためにドアや窓を開放し、換気を良くする

(寒さ対策のため、衣服の調節ができるよう指導を徹底)

キ スクールバス乗車中は小学部児童と中学部生徒との社会的距離を確保する。

(バスの前方座席を小学部席、後部座席を中学部生徒席とし、中間座席を空ける。)

ク 小学部のお迎えの際、保護者はクラスごと運動場に整列して保護者同士の社会的距離を確保する。児童を迎えたら速やかに下校する。等

## (2) クラスター発生を未然に防ぎ教育活動(全員登校)を維持継続するために

本人又は同居する家族がPCR検査を受けた場合は出席停止とします。このルールはフランス語共同体が示した教育機関における新型コロナウイルス感染症対応事項にはありません。

児童生徒のPCR検査陽性が発覚した場合、現地校(アテネ・ロワイアル)はクラスにPCR検査陽性の2人目が発覚した場合に学級閉鎖を行うとしています。インター校(ISB)はPCR検査陽性の1人目が発覚したら学級閉鎖を行うこととしています。さらに、家族が陽性であった場合、当該児童生徒は出席停止となるが学級閉鎖はしないということです。

ブラッセル日本人学校においては、本人又は同居する家族がPCR検査を受けた場合は出席停止とします。

PCR検査を受けるということは

ア 感染が疑われると医師が判断した場合

イ 感染可能性が高い地域からベルギーへ帰国した場合に検査を義務づけられた場合だからです。

※ベルギーから出国の際、検疫のため義務づけられたPCR検査を除く(陽性なら要報告)

※今回の国家安全保障会議において、赤地域からの帰国の場合、自宅待機期間が1週間になり、5日目にPCR検査を受けることになりました。この場合は赤地域から帰国し家族と同居した日から当該児童生徒は出席停止となります。ご家族のPCR検査結果が陰性かつご家族本人ともに風邪症状が見られない場合に登校を再開できます。ベルギー国政府の許可を受けた通勤の場合(48時間未満の滞在である越境労働者)、感染防止対策を確認したうえで当該児童生徒の登校を認める場合があります。

PCR検査結果が陽性であった場合、濃厚接触者である家族が、その間登校を続けていたら、学校に感染が広がる可能性があります。クラスター発生となれば、コンタクトレーシングも広範囲となり学校を閉じてオンライン授業を行う期間が長期化しかねないこととなります。

家族がPCR検査を受けることになった時点で原則出席停止とすれば、たとえ陽性であってもクラスターを最小限に抑えることができます。

## 2 学校登校において再確認をお願いしたいこと

## (1) 第十一報 1 (3) について再確認をお願いします。

(2) 第十一報 1 (3) イ (ア) について、これから冬になり、インフルエンザ等を含めた患者の増加により病院受診が困難となる状況が予想されます。今後は風邪症状による欠席の場合は出席停止としますので、必ずその旨を担任にご報告ください。病院受診をお勧めする現行の方針に変わりありません。

## 3 パンデミックレベルオレンジに移行した場合

## (1) 第十一報 2 (2) について再確認をお願いします。

- (2) 第十一報 2 (2) イに示しておりましたが、中学部 3 年生について、通常登校を継続します。本通知文にも示しておりますが、現地校より厳しいルール適用やそのルールを遵守している点、クラスター発生を防ぐための様々な方策を前提とした決定です。
- (3) 校外での学習活動が認められませんので、残念ながら小学部修学旅行はじめ、グリーンスクール、オータムスクール、マルシェ見学などの学習活動を中止とします。
- (4) 10月11日実施予定の英語検定については、情勢を見極めたうえで、受検申込者において連絡します。学習者にとって不安な状況と思いますが、学んだことは必ず将来にいきます。そのような心構えで前向きに取り組んでもらいたいと思います。
- (5) 移動教室による学習を取りやめて、教室における学習を実施します。

4 新型コロナウイルス感染症が学校再開後に本校の関係者から確認された場合  
 これまで、児童生徒のみならず保護者、教職員、教職員の家族から、新型コロナウイルス感染症が確認された場合は学校閉鎖を行うこととしていました。この点に関して  
 児童生徒のみならず保護者、教職員、教職員の家族から、新型コロナウイルス感染症が確認された場合は、コンタクトトレーシングの範囲や発症の時期を勘案し、影響のあると思われる集団のみを、校医であるユンゲルス医師をはじめとした関係機関と相談のうえ、オンライン授業に切り替えコンタクトトレーシングに備えることとします。

これは、コンタクトトレーシングの対象者は発症確認から2日前までの濃厚接触者（日常活動とともにする集団（学年部集団））であるという状況が明確になってきたからです。あくまでも原則であり、状況により個別判断をすることあり得ますのでご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

本校関係者から新型コロナウイルス感染症をださない努力を皆で協力し取り組んでおりますが、万が一感染した場合は仕方ないことです。その時はお互いに助け合い励まし合う。それが日本人学校の成員として当たり前のことと思います。必ず学校への連絡をお願い致します。学校は在ベルギー日本国大使館と文部科学省への連絡を行います。

これから冬に向けて感染者数が増加する可能性が指摘され、すでにその兆候が出始めています。感染者が発生して、一時的にオンライン授業に切り替えたとしても、短期間のコンタクトトレーシングで学校を再会できるように、ブッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応策を策定しております。先の見通せない不安な状況が続きます。「励まし合い、高め合い、志し高く」の精神で乗り切ってください。

○ この件に関してご不明な点は、担当までご連絡ください。  
 担当 黒川 昌彦 矢野千恵子 電話 日本人学校(02)672-1038

※ その他参考となる情報の提供について

● 「ベルギー公衆衛生省」自宅にいる人や周りにいる人へのアドバイス

<https://www.info-coronavirus.be/fr/si-vous-etes-malade/>

- ・患者さんとの身体的接触は極力避ける。可能であれば、一人の方のみで対応してください。
- ・慢性呼吸器疾患の人や免疫力のない人、高齢者に看病をさせないようにしましょう。
- ・居室の換気：1日に数回、患者さんがいる部屋の窓を30分程度開けます。
- ・定期的に手を洗い、洗っていない手で目や鼻、口を触らないようにしましょう。
- ・病人と食器やタオル、布団などを共有するのは避けましょう。食事は別々に食べる。
- ・表面（テーブル、ベッドサイドテーブル、ドアハンドル、便座）を1日1回、1%の漂白剤を含んだ水で消毒する（水1リットルに大きじ1杯の漂白剤を入れる）。

● 「厚生労働省」ご家族に新型コロナウイルス感染症が疑われる場合

家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000601721.pdf>

● 「厚生労働省」新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項（日本環境感染学会とりまとめ）[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage\\_00009.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html)

● 9月7日のMirror online ニュース（イギリス）学校再開の2日後に、ウイルスに感染のため学年閉鎖  
 リバプールカレッジの生徒はCovid-19に陽性反応を示した。市内のさらに7校の生徒120人と職員21人も、教室に戻って数日後に隔離されている。1人の生徒がコロナウイルス陽性であるとテストした後、学年全体の自己隔離を余儀なくされた。リバプールカレッジのスタッフと生徒は11年生（14歳前後）「バブル」が影響を受けたと日曜日に公表した。

● 9月16日のRTBF ニュース、9月17日のメトロ新聞（フランス）

関係大臣によると、年度の開始からわずか15日後、フランスでは合計81の学校が閉鎖され、医療学校を含む12の大学がCovid-19の症例を抱えている。

[https://www.rtbef.be/info/monde/detail\\_coronavirus-en-france-plus-de-80-ecoles-fermees-de-nombreux-cas-dans-les-universites?id=10585505](https://www.rtbef.be/info/monde/detail_coronavirus-en-france-plus-de-80-ecoles-fermees-de-nombreux-cas-dans-les-universites?id=10585505)

● 9月16日のVTR ニュース、9月17日のメトロ新聞（ベルギー フラマン地域）

感染者数 児童生徒638人 職員86人 検疫者数 児童生徒4278人 職員368人

ブリュッセルのフラマン語の学校も含まれていますが、フランス語の学校の感染はカウントされていません。フラマン小中学校合計約120万の児童生徒、164,000人以上の職員

<https://www.vrt.be/vrtnews/nl/2020/09/16/besmettings-en-quarantainecijfers-onderwijs/>

● 新型コロナウイルス対策（公衆衛生省記者会見ポイント：9月16日（水））在ベルギー日本国大使館

<https://www.info-coronavirus.be/nl/live-pressconferenties/>

1 感染状況（Yves Van Laethem 連邦間広報官）最近の感染傾向は望ましくないものになりつつある。新規感染者数は12日毎に2倍に増加しており、7月中旬以降、9/11の新規感染者数（1139名）が最大となっている。感染者は全ての年齢層で増加しているが、現時点では20歳前後の層が最も多く感染している。また、10～20歳及び70歳以上の高齢者の層でも増加している。7月中旬には、アントワープ州やブリュッセル首都圏地域で局的に感染者数の増加が見られたが、現在は国内全域で増加しており、週毎の1日当たり平均の増加率は州によって24～111%と異なる。現在もブリュッセルにおいて感染者数が最も多く、先週の1日当たり平均は166名で、前週と比べて24%増加となっている。アントワープに関しては、同値は160名であり、一旦減少した後に増加したため、前週と比べて59%増とより高い割合になっている。その他、東フランダース州、リエージュ州の同値がそれぞれ85名、73名とより目立っている。